

## 8.31の政府主催の広域医療搬送訓練と 院内災害対策訓練を振り返って

救急部主任部長  
古谷 保博

東日本大震災から2年半を迎えましたが、最近全国で豪雨・竜巻被害が頻発しており、また今後30年以内に60-70%の確率で起こると予想されている南海トラフ巨大地震の甚大な被害想定も報道されていることから、当院は県の災害拠点病院として紀南地域を守る備えが改めて問われていると思います。

そこで、今回8月31日に訓練チューターとして参加した政府主催の広域医療搬送訓練と院内独自の災害対策訓練を振り返ってみました。

訓練の主眼は当院初めての広域医療搬送訓練と県外DMATによる病院支援訓練であり、それに合わせて訓練実施内容を、アクションカード（行動指示カード）を用いて実行することを目標にしてアクションカードを作成しました。私はアクションカードについて「災害はいつ起きるか分からない。登院してくる職員の順番もその時々で変わるだろう。従って指揮命令系統も含め、有効活用できるようにしたい。」と以前から考えていました。またアクションカードは、登院してくる職員に行動内容を簡潔に指示したカードで、限られた人員や時間を効率よく治療や諸活動に費やすため、今回その活用を試みました。

ところが、このアクションカードの作成には非常に苦労しました。アクションカードの作成は初めてのことでありましたが、行動指示を与えるのがその目的であるため、特に災害対策本部要員の業務内容を決定するのに時間を費やし出来上がったのが前日でありました。

さらに、今回の傷病者の設定は、DMAT事務局が用意した300名もの中から選ばねばなりませんでしたが、当初、赤ゾーンで広域搬送の適応となった患者は白浜空港のSCUを経て自衛隊機で長崎県のSCUまで搬送される予定となっており、また、他県の施設でも広域搬送適応患者は事前に設定された県



上富田のスポーツセンター近くの楓

外のSCUまで搬送されるので、その一連の流れを想定して傷病者1人1人にDMAT事務局が各エリアでのバイタルサイン等を決めていてDMAT隊員を含め訓練参加者全員で統一しようと考えていたためであります。傷病者の設定は多少の変更が可能でしたが、逐一DMAT事務局に報告をする必要があり大変面倒でありました。しかしながらこのような苦労をしながらも、何とか大規模な政府主催の広域搬送訓練とそれに連携すべく院内独自の災害対策訓練を立案する事ができました。

そして8月31日、院内職員160名、看護学生25名、田辺市消防本部職員8名の総勢193名もの人に参加していただき訓練当日を迎えることができました。

8時30分、暫定対策本部の立ち上げと初動体制作りから訓練が始まりました。衛星回線も設置でき通信可能も確認し、9時30分には災害対策本部を設置し、自己登院してきた職員に対しアク

ションカードを手渡し担当職務を決定していきました。その後、各ゾーンの設営が始まりました。この間3階講堂では、32名の傷病者役の人に、担当看護師がメイクを施し1人1人に役柄を指導していました。11時よりいよいよ傷病者を受け入れトリアージ訓練が始まりました。台風の影響で白浜空港SCUから長崎県のSCUまでの自衛隊機での搬送は中止となっていましたが、この時点では、まだヘリの運用中止が決まっていませんでした。



紀南病院玄関前にて  
救助作業

職員配置表

なんとか飛んでほしいとの思いがありましたが、11時30分頃に訓練コントローラーからヘリ運用中止の知らせを受けました。残念でなりませんでしたが、その後が大変でした。空路の広域搬送となっていた2名が急遽陸路搬送に変更となりました。それには救急車(車)が足りません。病院の公用車を手配したり、消防にもう一台救急車(ポンプ車)を用意してもらったりしました。実際は職員の車で搬送してしまったのですが、大変混乱しました。12時前には横浜市立大学病院のDMAT1隊が病院支援に来られました。この頃は前述のごとく大変混乱していましたので、当初空路搬送を手伝ってもらう予定としていたのですが、陸路となったことから、赤ゾーンの診療を手伝っていただきました。当院では広域医療搬送訓練は初めて、ましてや広域搬送患者の適応条件があること(AやBもある)や医療搬送カルテの記載も初めてだったので、赤ゾーンのリーダー医師やチューターは大変苦労されたと思います。広域搬送適応患者が発生した時点で、災害対策本部への連絡やさらにはSCUへの連絡が特に混乱していたように感じました。

訓練全体を捉えて一番感じたことがあります。当院は地域の中核を担う災害拠点病院であるので、情報収集・判断・現場への指示といった点で迅速な対応が求められます。今回、災害対策本部の初動体制に注目し、登院してきた職員の担当職務決定から、初めてアクションカードを用いて行いましたが、アクションカードの不備もあります。指揮命令系統に課題が見られた点は残念に思いました。原因としてはいわゆるロジ要員の不足です。本部で指示を受け情報統括する担当者を配置するなど本部人員を増やすべきだったと考えます。しかしながら、DMATロジと同等の業務をこなせる事務職はいません。先日、和医大で訓練に参加した12施設が集まって訓練の検証会を行ったのですが、その席上でもロジ要員の不足が議題になりました。いろんな意見がでましたが、結論として一般事務職の人がDMATロジの代行を出来るように育成する研修会を県で開催できないか検討するということになりました。

今回の訓練に際し、参加者からもいろんな意見をいただいております。またチューターの方々の意見や、訓練コントローラーや病院支援DMATの方々からも色々指導や指摘された点もありますので、今後に生かしたいと思っております。



## 研修医日記

こんにちは、1年目研修医の井上です。とっても面白い小島先生につづいて2番手を任せられ、かなり荷が重いのですが、、、僕もさらっと自分の経歴について書かせていただこうと思います。

出身は大阪府の羽曳野というところです。大阪といっても南河内とよばれる地域で、古墳と溜池しかない田舎の町です。お肉がうまいです。あと野球のダルビッシュの出身地でもあったりします。そんなところで少年時代、阿呆のように遊びつつ医者になるか漁師になるかとぼんやり考えながら過ごし、中学のときに一念発起して医学の道に進むことになりました。



研修医  
井上 航一

高大と一歩も大阪をでることはなかったのですが、大学を出てから好きな海が見える(勿論その他もろもろの条件も含め)紀南病院に来させて頂くことになりました。

終わってしまいました。小島さんのように紆余曲折話はないので、残りは好きなラグビーについて書こうと思います。小学校から、高大となんやかんやで12年ほどラグビーをやってきました。アメフトと混同されている方を見ると悲しくなります。サッカーは嫌いじゃないですが「チャラチャラ丸い球蹴りやがって。」とは思っています。認知度がかなり低いですが、実は2019年にワールドカップが日本で開催されます。あと6年あるので、この機会にルールを覚えて、ラグビーについてもっと知ってほしいと思います。ルールについて書くと足りなくなるのでネットなどで調べてみてください。面倒な方は、Youtubeで「rugby tackle」などで検索すると熱い感覚はつかめるかと思えます。「haka allblacks」とかでもいいかもしれません。ラグビー繋がりや、人との繋がりもあります。先日は、職員の方と白浜でビーチフットボール大会にださせて頂きました。かなり気合を入れていったのですが、2試合目にして腰をいまして戦線離脱するという情けない結果となってしまいました。小山さん、ごめんなさい、、、

そろそろ限界です。今、隣でごちゃごちゃ言っている、100m10秒台で走れるI君が、次回抱腹絶倒の話をしてくれるらしいのでどうぞ期待ください。終わります。

(注・次回は伊藤先生です。編集部)

# 地域医療連携だより



## ツツガムシ病と私

いつもお世話になっております。玉置病院の玉置幸子です。

私は1989年より田辺市周辺の紀南地方におけるツツガムシ病の発生状況を、田辺市医師会の先生方と共に調べています。従来ツツガムシ病は和歌山県にはないといわれていましたが、1989年に田辺市で第1例が発見されてから毎年のように患者の発生がみられ、これに興味をもたれた医師会の先生方と「ツツガムシ病調査班」を作り、検討することになりました。1989年から2012年までの21年間に、165例のツツガムシ病患者を経験しました。最近では、年間約11～15例くらいみられています。

確定診断は血清を福井大学に送り、IP法で診断していたいております。従って診断は正確ですがペア血清で送らなければいけないこと、測定して下さる高田伸弘先生がよく出張でダニを求めて海外へ行かれるので、結果が送られてくるのがいつになるかわからないという欠点があります。(だいたい1ヶ月くらいかかります。)

ともあれ毎年医師会の先生方の血清を送りつづけておりましたら、2008年に高田先生から、SADIというダニと疾患のインターフェイスに関するセミナーを田辺でしたいと申し出がありました。はじめは会場だけ確保してくればよいということだったので、不安を感じながらお引き受けしました。また、SADIには疫学ツアーという小旅行をつけなければならなかったため、熊野古道を御案内しました。予算が少なかったので、当時の永岡元総師長に熊野古道までのバスガイドをしてもらいました。永岡元総師長は、ウグイス嬢の経験もあったので「おもてなし」の心と気合いでなんとかなりました。この1ヶ月後に牛馬童子の頭がなくなるという事件があり、出席された先生方からお悔やみのメールをいただきました。



玉置病院

玉置 幸子先生 (中央)

と医療スタッフの皆さん

紀南地方においてはツツガムシ病が旧田辺市周辺に集中し、日本紅斑熱は東牟婁郡に集中して発生しています。これは、ベクターとなるダニの分布が田辺市と東牟婁で異なるためだそうです。SADIのあと、金沢医大の及川陽三郎先生がさっそく紀南のダニを調べて教えてくれました。SADIの時には必ずみんなで踊るというダニ音頭というものも存在し、世の中にこんなにもダニを愛する先生方がおられるのだと感心しました。

この地域のツツガムシ病は、11月が発生のピークです。私共は1回3～4cc全血をとって保存し、ペア血清になってから福井大学へ送っています。その結果報告をかねて、約1年に1回ツツガムシ病調査班会議を行っております。また、先生方もそのような症例がありましたらお気軽に御連絡下さいませ。

## New Face さ～ん

きむら けいぞう

《循環器科》木村 桂三



①和歌山市②趣味1)スポーツ:中学より少し前までバスケットボールをしていましたが、最近ジムで走ったり泳いだりする程度です。

2)音楽:クラシック音楽全般。これまでは鑑賞するだけでしたが、1年前よりチェロを習い始め、基礎練習はなんとか終了し練習曲や小品を弾いています。その他温泉めぐり、魚釣り③自己アピール1)患者様のお話をよく伺い、必ず自分の手で診察することを基本としています。2)周りの職員が楽しく仕事ができるような環境作りを心掛けています。

【血液浄化センター】

さとう としひろ  
佐藤 壽浩



①東京都②ドライブ・釣り③紀南病院の勤務は2回目となります。宜しくお願い致します。



すぎた げん

《耳鼻咽喉科》杉田 玄



①千葉縣市川市②写真(自然・鉄道)③扁桃手術を特異としています。コブレーターというメスを使う事で従来の扁桃摘出術よりも痛みがとても楽になりました。扁桃炎でお悩みの方は一度ご相談下さい。

あおき ひろし

《循環器科》青木 浩

①京都②旅行③マイペースですが一生懸命頑張りますので宜しくお願いします。

# 病院のまど

## 第44回市民健康講座について

大腸の病気には様々な種類があります。大腸ポリープや大腸がん、炎症性疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）

も増加しています。

腹痛・血便・便秘・下痢などが続くようであれば要注意です。

病気が重症化しないためにも大腸の検査、治療方法について学びませんか。

日時 平成25年11月10日（日）  
午後2:00～3:00

演題 大腸の病気について  
～あなたは治療の機会を逃がしていませんか？  
大腸癌だけがすべてではないですよ～

演者 宮崎 安晃（紀南病院 外科医長）

会場 紀南病院 3階講堂

## 編集後記

今年の夏は「暑い!!」の一言。

私が生きてきた中「暑い」という言葉を一番多く言った年でした。我が家の菜園にナス、キュウリを植え収穫を楽しみにしていましたが、雨が降らずナス3個、キュウリ7本収穫したあと枯れてしまいました。毎日天気予報をみて雨を待ちましたが紀伊半島は雨に見離されていたようです。ところで天気予報で「アメダス」と言っている言葉、私は「雨ダス」と思っていて、「気象庁もおもしろい事いうなあ」と笑っていましたが、アメダスは

Automated Meteorological Data Acquisition Systemの頭文字AMeDASからとったものだそうです。日本語で自動気象データ観測システムだそうです。暑い夏がくれた私の豆知識になりました。このサザンクロスを皆案さんが読む頃には涼しい秋でありますように。追伸 8月終わりより台風接近で恵みの雨が降り何とことでしょう。ナスが復活しました。かわいい小さな実を2～3個つけています。すごい生命力ですね。いとおしく食べるのがつらくなるように思います。

タマ・トラ

## daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

|           |  |
|-----------|--|
| 和歌山事業所    | ：〒641-0012<br>和歌山市紀三井寺855-71                     |
| 紀三井寺事業所   | ：〒641-0014<br>和歌山市毛見 1111-1                      |
| 大阪支店      | ：〒550-0002<br>大阪市西区江戸堀 3-5-27                    |
| 南大阪支店     | ：〒594-0031<br>和泉市伏屋町2-16-11                      |
| 紀南支店      | ：〒646-0011<br>田辺市新庄町3778-2                       |
| 神戸支店      | ：〒650-0023<br>神戸市中央区栄町通5-2-6                     |
| 奈良支店      | ：〒630-8115<br>奈良市大宮町4-295-10<br>奈良朝日生命川口ビル 1F    |
| 関西空港営業所   | ：〒590-0523<br>泉南市信達岡中919-1                       |
| 新宮営業所     | ：〒647-0052<br>新宮市橋本 2-5-61                       |
| 東京麹町オフィス  | ：〒102-0083<br>東京都千代田区麹町3-5-2<br>BUREX 麹町 301号    |
| 京都丸太町オフィス | ：〒606-8395<br>京都市左京区丸太町通川端東入<br>東丸太町32-3 上田ビル 3F |

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

 **SEIKO MEDICAL**  
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

|  |   |
|--|---|
| ■本 社<br>〒640-8287 和歌山県和歌山市手平 3-8-43<br>TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223       | ■田辺営業所<br>〒646-0011 田辺市 新庄町 2744 番地<br>TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578  |
| ■大阪支店<br>〒595-0012 泉大津市北豊中町2丁目5番28号<br>TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619       | ■新宮営業所<br>〒647-0072 新宮市 橋本 20番 22号<br>TEL. 0736-31-9130 FAX. 0736-31-9133   |
| ■医大前営業分室<br>〒641-0012 和歌山県紀三井寺 768 番地の 13<br>TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781 | ■奈良営業所<br>〒632-0082 天理市 荒崎町 56 番地の 4<br>TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810 |